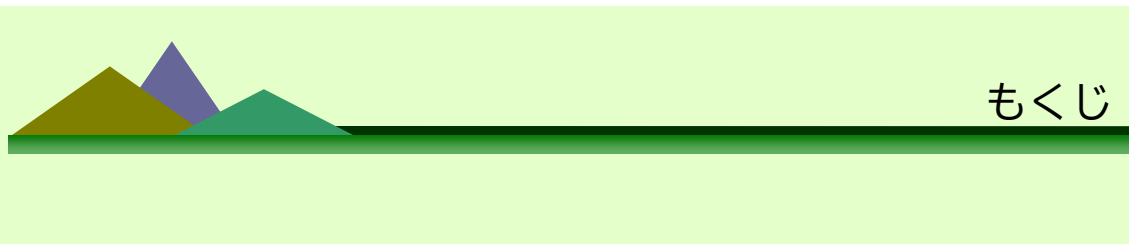


# 国立日高青少年自然の家 令和8年度 施設要覧



体験の風をおこそう  
～はじめてのたき火と川あそび～



- 国立日高青少年自然の家の目指す姿……………2  
    基本理念・教育理念・生活目標
- 施設案内……………3  
    館内図
- 利用状況概要……………4  
    団体別利用状況  
    年度別推移・月別推移
- 組織……………6  
    沿革・組織  
    運営協議会
- 活動エリア……………7  
    アクティビティ
- 交通案内……………8  
    日高町・自然の家まで



## 国立日高青少年自然の家の目指す姿

### 基本理念・教育理念・生活目標

国立日高青少年自然の家は、青少年に家庭や学校では日常経験することができない心身の発達に必要な多様な体験を、大自然の中での活動を通して提供することにより、次代を担うたくましい心豊かな青少年の育成を図ることを目的とした教育施設です。

### 基本理念

- 1 国立青少年教育施設として青少年教育の振興を図っていくため、先駆的な事業運営を行い、これらの取組の普及を図ります。
- 2 利用される団体が教育的なねらいを達成できるよう、利用者の視点に立った支援と運営に全力を傾注します。
- 3 北海道の大自然や地域の伝承文化を生かした特色のある教育プログラムや独創的な体験教育プログラムの開発を行います。
- 4 青少年教育に携わる指導者がさらに指導力を向上できるよう、研修事業の企画とその充実に努めます。
- 5 青少年の体験学習の機会を拡充するため、北海道内外からの利用拡大に努めます。

### 教育理念

当青少年自然の家は、青少年が集団やグループで宿泊生活をしながら自然の中での多様な体験学習を通して、次のような心豊かな人間性や社会性をはぐくむことを目指しています。

- 1 自然との触れ合いを通して、自然や自然の美に感動できる感性
- 2 仲間との生活・活動を通して、他者への思いやりや生命を大切にする心
- 3 親元を離れての集団生活やグループ活動を通して、我慢する心や自立心
- 4 厳しい自然環境での活動を通して、物事を着実にやりぬく意思や主体性
- 5 集団生活を通じた早寝早起きなど、基本的な生活習慣

### 生活目標

- 1 毎日、整理・整とん、清掃をしよう
- 2 さわやかなあいさつを心がけよう
- 3 チャレンジする心をもって取り組もう

# 施設案内

## 館内図



施設名	収容定員	主たる活動内容
宿泊棟(11棟)	218名(最大収容240名)	宿泊
食堂(558㎡)	288名	食事
大研修室(144㎡)	100名	講演・実習・DVD鑑賞・キャンドルサービス、クラフト制作など
中研修室(86㎡)	64名	
小研修室(61㎡)	30名	
PC1(55㎡)	40名	
PC2(45㎡)	30名	
オリエンテーション室(135㎡)	50名(最大80名程度)	
サンゴの家(363㎡)	160名(最大200名程度)	卓球・バレーボール・バドミントン・レクリエーション・キャンドルサービス・集会など
プレイホール(596㎡)	400名	



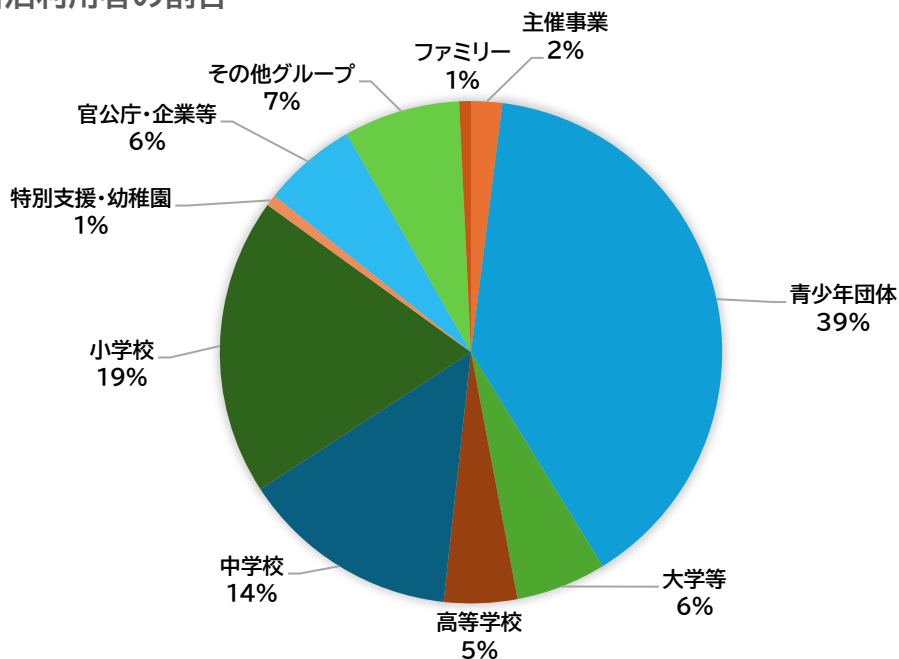
# 利用状況概要

## 団体別利用状況

区分	宿泊団体数			
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	比較 (R7-R6)
主催事業	18	10	8	-2
青少年団体	119	97	93	-4
大学等	22	31	23	-8
高等学校	11	8	7	-1
中学校	14	16	20	4
小学校	45	46	50	4
特別支援・幼稚園	4	4	4	0
官公庁・企業等	33	33	29	-4
その他グループ	72	50	39	-11
ファミリー	53	48	28	-20
合計	391	343	301	-42

区分	宿泊利用者数			
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	比較 (R7-R6)
主催事業	1,442	683	622	-61
青少年団体	12,843	12,351	12,157	-194
大学等	1,730	2,167	1,804	-363
高等学校	3,590	1,984	1,462	-522
中学校	2,320	4,148	4,365	217
小学校	5,682	5,611	5,939	328
特別支援・幼稚園	280	273	228	-45
官公庁・企業等	2,127	1,790	1,879	89
その他グループ	3,372	3,317	2,319	-998
ファミリー	511	443	234	-209
合計	33,897	32,767	31,009	-1,758

### 令和7年度 宿泊利用者の割合



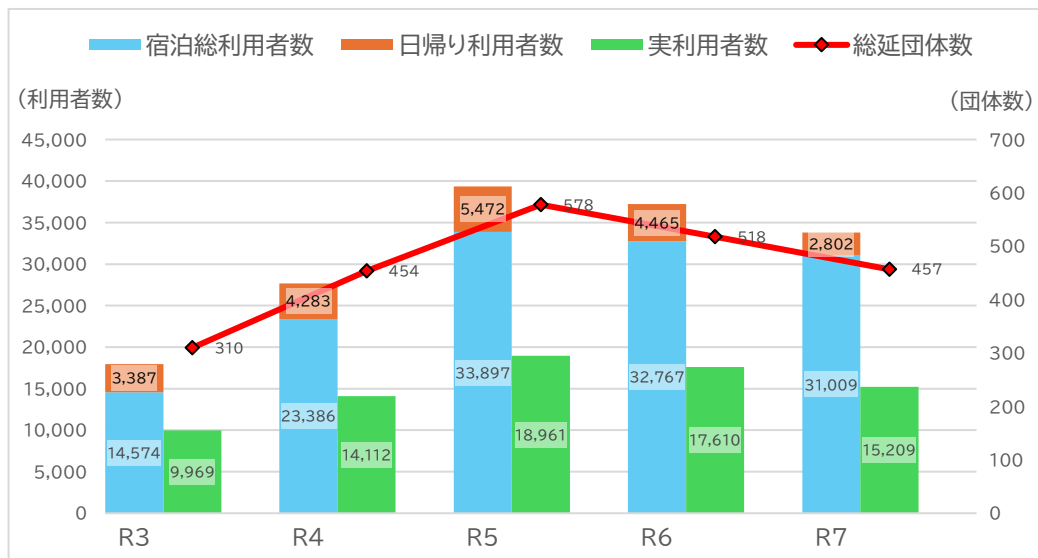
# 利用状況概要

年度別推移・月別推移

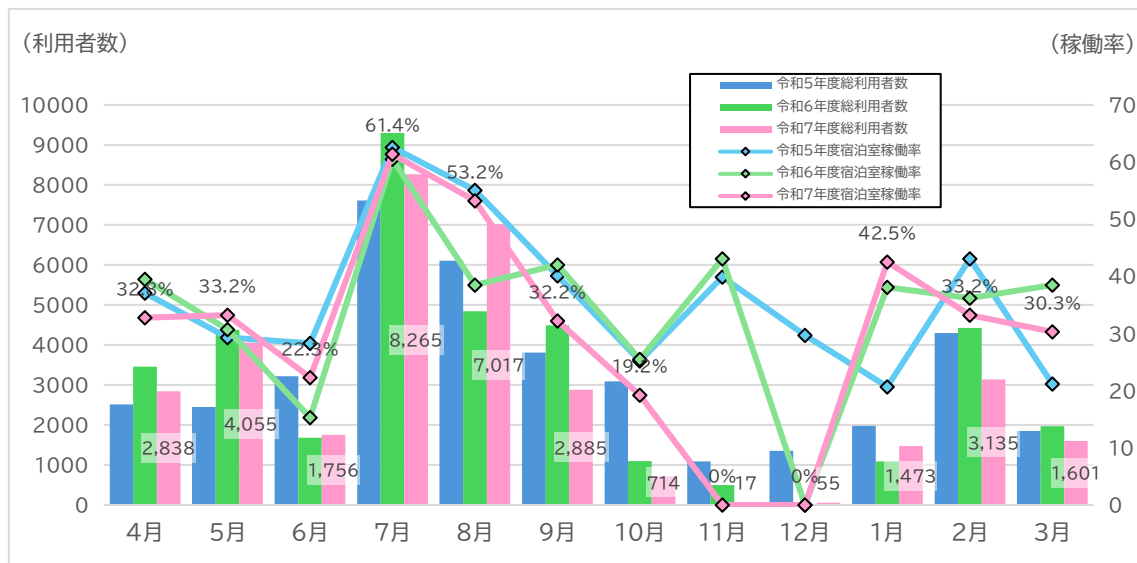
## 年度別総宿泊者と平均宿泊室稼働率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間宿泊利用者数計	33,897	32,767	31,009
年間宿泊室稼働率	37.2%	37.8%	38.6%

## 年度別推移



## 月別推移





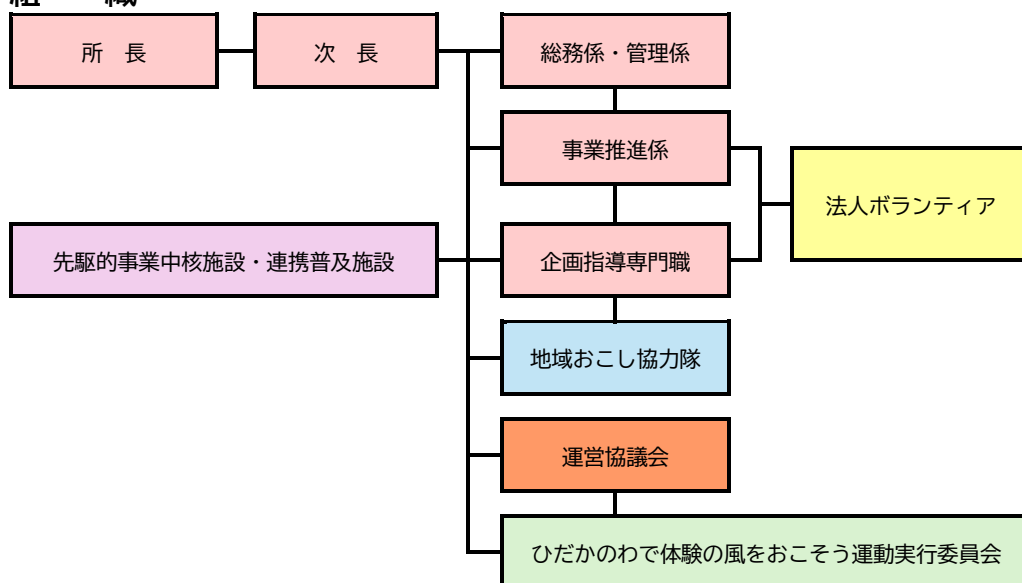
# 組織

沿革・組織

## 沿革

昭和49年	1月19日	国立第6少年自然の家 設置決定(北海道沙流郡日高町)
昭和53年	9月30日	起工式 挙行
昭和55年	10月1日	国立日高少年自然の家(仮称)設置準備室設置を文部省内に設置
昭和56年	4月3日	国立日高少年自然の家 機関設置
昭和56年	8月1日	一部事業 開始(宿泊定員 200名)
昭和57年	4月1日	本格事業 開始(宿泊定員 400名)
昭和57年	9月26日	開所式 挙行
昭和58年	7月13日	からまつキャンプ場 完成(宿泊定員 200名)
昭和58年	11月30日	第1・第2山小屋、わんぱく広場、トンカチ広場、農園 完成
平成3年	8月23日	開所10周年記念式典 挙行
平成7年	4月1日	ボランティアモニター制度 発足
平成9年	3月31日	トンカチ広場野外トイレ、からまつキャンプ場シャワー棟 完成
平成13年	4月1日	独立行政法人に 移行
平成13年	10月6日	開所20周年記念式典 挙行
平成18年	4月1日	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家に移行
平成22年	6月30日	延べ利用者数300万人達成記念式典 挙行
平成23年	10月28日	開所30周年記念式典 挙行
平成29年	1月31日	からまつキャンプ場屋根付き広場 完成
令和元年	6月28日	ひだか冒険の森 完成
令和2年	2月28日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉所(～同年6月末)
令和2年	7月29日	日高町と災害時における施設等の利用に関する協定を締結
令和2年	10月1日	占冠村と災害時における施設等の利用に関する協定を締結
令和2年	10月30日	平取町と災害時における施設等の利用に関する協定を締結
令和3年		開所40周年(コロナ禍のため、式典は挙行せず) 「40周年記念誌」を発行
令和5年	2月11日	延べ利用者数400万人を達成
令和6年	6月25日	自然の家を含む一帯が日高山脈襟裳十勝国立公園に指定
令和8年	4月1日	収支改善を目的に定員数を240名に縮小

## 組織



## 活動エリア

アクティビティの一例



### ①野外炊事

グリーンホールは屋根付きの炊事場で、雨天時でも快適に野外炊事ができます。また、河川敷の野外炊事場では、石でかまどを作るところから体験できます。

### ②日高アドベンチャー

協力、責任、信頼といった人間関係を構築するために必要な技術や態度を身につける、仲間づくりやチームビルディングのトレーニング。

### ③ひだか冒険の森

森の中でのアスレチック遊びや沢遊びをとおして、幼児期に身につけておきたい「動き」を自然と身につけることができます。



### ④川・沢活動

夏はライフジャケットで川を流れ下るボディラフティングや沢登りが人気です。



### ⑥キャンプ

野外炊事場、営火場などを備えた200名が活動可能なキャンプ場です。管理棟にはトイレやシャワー室を備え、寝袋やテント、ランタンなど、キャンプに必要な用具は有料で貸し出しています。

### ⑤登山・ハイキング

標高751mの北日高岳を目指す登山コースをはじめ、『サングの滝』を見学できるハイキングコースなど、体力や時間に応じて様々な設定ができます。

また、冬は雪原や雪中をスノーシューを履いて歩く、スノーシューハイキングが楽しめます。



# 交通案内

## 日高町・自然の家まで

### 日高町まで



### 自然の家まで



### ●住所・連絡先

〒055-2315 北海道沙流郡日高町字富岡

TEL(01457)6-2311 FAX(01457)6-3934

E-mail [hidaka-hp@niye.go.jp](mailto:hidaka-hp@niye.go.jp) ホームページ <https://hidaka.niye.go.jp/>

### ●JR利用の場合

- ・石勝線占冠駅下車 日高町営バス乗車  
占冠駅 → 日高総合支所前 25分

### ●自動車利用の場合

《一般道》

- ・札幌～ 国道274号線(120km 約2時間)
- ・旭川～ 国道237号線(120km 約2時間)
- ・苫小牧～ 国道235・237号線(110km 約2時間)
- ・帯広～ 国道274号線(90km 約1時間30分)

《高速道路》

- ・道東道 占冠IC 15.6km 約20分

### ●飛行機利用の場合

- ・JR: 新千歳空港 → 南千歳駅 → 占冠駅
- ・自動車: 国道337号線 → 道東道千歳東IC → 占冠IC



独立行政法人国立青少年教育振興機構

**国立日高青少年自然の家**

〒055-2315 北海道沙流郡日高町字富岡

電話：01457-6-2311

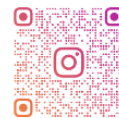
メール：hidaka-hp@niye.go.jp

体験の風をおこそう～「はじめて。」のたき火と川あそび～

こども  
まんなか



Facebook



Instagram



YouTube



ホームページ

詳しい利用方法等はホームページからご確認下さい。